

県立男女共同参画推進センターに関する意見交換会【概要】

○意見交換会

- R3. 6. 1 男女共同参画推進委員長と知事との意見交換会
- R3. 6. 3 女性団体と知事との意見交換会
- R3. 6. 4、6. 7～6. 9 利用者等と県民生活部長との意見交換会

【集約に反対】

- ・集約すると男女共同参画の灯が消えてしまう。
- ・顔を合わせて交流する拠点が必要。
- ・差別に苦しむ女性が声をあげられる場所として存続してほしい。

【中立】

- ・利用者が困ることがないような対応をとってほしい。
- ・若い女性たちが活躍できる環境の整備を。
- ・ジェンダー平等教育を県全体で進められる体制の整備を。
- ・建物がなくなっても交流や活動を続けられるよう、話し合いの機会を設けてほしい。

【集約に賛成】

- ・大きな県でもセンターは一か所しかない。活動に対して手厚く支援できるのであれば集約化もよい。
- ・拠点に行く時間を考えるとICTを活用したほうがいい。
- ・老朽化は理解しており、今の施設でなくてもいい。

○山梨県男女共同参画審議会（R3. 6. 10）

【集約に反対】

- ・廃止になれば利用者が困ることと、男女共同参画推進の事業がなくなってしまうのが問題である。

【中立】

- ・機能と役割を残してほしい。

【集約に賛成】

- ・一部の受益者だけのものにならないよう、総合的な判断が必要。ハコモノを活用しない男女共同参画の取り組みを考えるべき。
- ・ハコモノが自治体の財政に大きな負担となっているため、コストカットは当然すべき。男女共同参画の機能は必要だが、レンタルスペースなどでもよい。